



第2節 北九州エコタウン事業の推進

本市では、100年にわたる「ものづくりの街」として蓄積された技術力、人材及び裾野の広い産業インフラと、公害克服の過程で培った産学官民のネットワークといった特色を活かし、「産業振興施策」と「環境保全施策」を統合した独自の地域政策として「北九州エコタウン事業」に取り組んでいます。

1. 概要

〈これまでの経緯〉

- 平成元年～平成4年「響灘開発基本構想」の策定
- 平成6年～平成8年「響灘開発基本計画」の策定
- 平成9年7月10日「北九州エコタウンプラン」の策定、国の承認
(第1次変更承認 H14.9.13、第2次変更承認 H16.10.7)

〈これまでの取組と成果〉

- 事業数 25事業 (各種リサイクル法に対応したものと及び独自に進出したものを合わせ、わが国最大の事業集積)
- 実証研究数 52研究 (終了分を含む)
- 総投資額 約605億円 (市67億円、国等117億円、民間421億円)
- 雇用者数 約1,300名

◆総合的な展開 (北九州方式3点セット)

北九州市の環境産業振興の戦略
基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまでの総合的展開

1. 教育・基礎研究

- 環境政策理念の確立
- 基礎研究、人材育成
- 産学連携拠点

北九州学術研究都市



2. 技術・実証研究

- 実証研究支援
- 地元企業のインキュベーター

実証研究エリア



3. 事業化

- 各種リサイクル事業、環境ビジネス展開
- 中小、ベンチャー事業の支援

総合環境コンビナート



◆総合環境コンビナート (若松区響灘地区)

各種リサイクル工場等を集積したゼロ・エミッション型コンビナートのモデルとして形成を図っているエリアです。



ペットボトルリサイクル事業
「容器包装リサイクル法」に基づいて、市町村が分別収集するペットボトルをリサイクルし、ポリエステル繊維や卵パック等の原料になる再生PETペレット/フレークを生産。
■事業主体 西日本ペットボトルリサイクル㈱



OA機器リサイクル事業
使用済みのOA機器(コピー機、ファクシミリ、プリンター、パソコン)を分解し、新たな機器の部品やプラスチック、アルミ、鉄などを回収してリサイクルする。
■事業主体 ㈱リサイクルテック



自動車リサイクル事業
「自動車リサイクル法」に基づく自動車解体業。自動車メーカーから精緻な解体を委託され、解体後は廃自動車鉄鋼原料として転炉に投入するなど高度なリサイクルを行う。全部再資源化認定(法第31条認定工場)。
■事業主体 西日本オートリサイクル㈱



家電リサイクル事業
「家電リサイクル法」に基づき、廃家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)を高度に分解・選別し、鉄、アルミ、銅、プラスチックなどを回収してリサイクルする。
■事業主体 西日本家電リサイクル㈱



蛍光管リサイクル事業
家庭や事業所から排出される使用済み蛍光管から、水銀、ガラス、金属、蛍光体を分別回収し、リサイクルする。
また、リサイクル蛍光管も製造(OEM)。
■事業主体 ㈱ジェイ・リライツ



医療用具リサイクル事業
医療用具を破砕・高周波処理・分別し、収集容器原料を製造。また、固形燃料やセメント原料としてリサイクル。
■事業主体 株式会社北九州事業所(エコノバイト㈱)



建設混合廃棄物リサイクル事業
建築物の解体現場などで発生する混合廃棄物を、手選別、機械選別により「がれき類」「木材」「金属類」などに分別し、リサイクルする。また、「石膏ボード」及び「廃プラスチック」のリサイクルも行う。
■事業主体 ㈱NRS

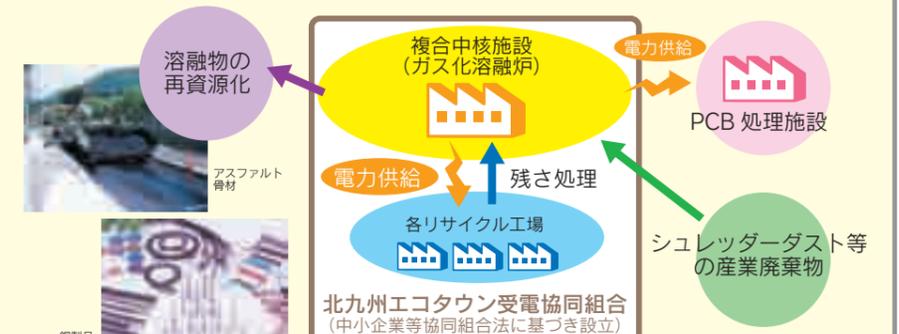


非鉄金属総合リサイクル事業
廃家電・廃自動車等から発生するラジエーター・電子基板・被覆銅線等を、独自の選別処理ラインにより各種金属に分別・回収し、高品位な非鉄原料としてリサイクルする。
■事業主体 日本磁力選別㈱



複合中核施設
エコタウン企業のリサイクル残さや自動車のシュレッダーダストを中心とする産業廃棄物などを溶融処理し、スラグやメタルとして溶融物を再資源化するとともに、発生する熱を利用し発電を行い、その電力をエコタウン企業に供給。
■事業主体 北九州エコエナジー㈱

総合環境コンビナートのゼロ・エミッションを目指す中核機能



◆響リサイクル団地 (若松区響灘地区)

中小・ベンチャー企業のリサイクル事業を支援するエリア

市内の企業・ベンチャー企業が先駆的な技術や斬新なアイデアを駆使してリサイクル事業に取り組むことを支援するエリアで、フロンティアゾーンと自動車リサイクルゾーンに分かれています。

●自動車リサイクルゾーン

自動車リサイクルゾーンは、市街地に点在していた自動車解体業者が集団で移転し、より適正で効率的な自動車リサイクル事業を実施するもので、中古部品販売業や解体スクラップ業などの7社で構成する北九州ELV協同組合が事業主体となり、平成14年5月から操業しています。全部再資源化認定(法第31条認定工場)



●フロンティアゾーン

地元中小・ベンチャー企業が、独自の・先駆的な技術やアイデアを活かした事業を行っています。



食用油リサイクル事業
食品工場等から出る廃食用油を原料として、建築塗料の原料、飼料、軽油代替燃料等を製造。
■事業主体 九州・山口油脂事業協同組合



洗浄液・有機溶剤リサイクル事業
半導体部品の洗浄液や化学・医薬品の精製等で発生する有機溶剤を蒸留し、高純度の再生品を製造。また、廃ブラを油化し、重油を取り出す装置を併設。
■事業主体 高野興産㈱



古紙リサイクル事業
家庭や事業所から出る古紙を破砕し、家畜用敷きわら等にリサイクル。
■事業主体 ㈱西日本ペーパーリサイクル



空き缶リサイクル事業
飲料缶を鉄とアルミに分離し、「CAN TO CAN」も可能な高純度、高品位のスチールペレット、アルミペレットを生産。
■事業主体 ㈱北九州空き缶リサイクルステーション